

2010年度 青年委員会活動方針

はじめに

連合は今年で20周年を迎えました。20年前はベルリンの壁崩壊、ソ連邦崩壊など、世界は自由・資本主義体制へと移行していく激動の時代でした。現代においては、米国に端を発する世界同時不況により日本も雇用情勢や経済全般に多大な影響を受けました。いつ何が起こるかわからないこの難しい時代を、私たちは自らの手と知恵と行動によって乗り越えなければなりません。そのためにも、青年活動をさらに活性化させ、様々な活動を通じ若者同士の交流やネットワークを構築することにより、若者の斬新な意見などから現代の抱える問題を汲み取り、また引き出しながら本質を見極めることで、若者が希望の持てる日本社会を作り出すことが出来ると考えます。一方で、政治によって我々の年金・医療・社会保障制度等が大きく影響することも十分意識する必要があります。青年組合員が働きがいと生きがいを見つけ、豊かな人間性と創造性を育む活動を連合愛媛は展開していきます。

1. 組織運営

青年活動は積極的な参加型活動を通じ、自身の社会人としての成長、資質向上を目指すとともに、組織の充実・地域社会の発展に役立てる活動を展開していきたいと考えます。また、青年活動を通じて組合員による「仲間づくり活動」にも積極的に取り組み、仲間同士によるネットワーク、交流・コミュニティの充実を図ります。

積極的な対話活動の推進
四役会議、幹事会の充実・活性化
教育・宣伝・情報活動の推進

2. 社会参加活動

今日の社会は行政や企業だけでは多様化・個性化した市民ニーズに対応するには限界があり、NPO団体などの活動に対する期待が高まっています。連合愛媛としても社会参加活動は重点活動と位置づけ積極的に取り組んでいきたいと考えます。また、国民運動(春季生活闘争、メーデー、平和活動等)へも積極的に参加し、連合の国民運動における青年活動のあり方について考えていきます。

ボランティア・社会貢献活動の推進
NPO・NGO団体との交流
「連合・愛のキャンパ」活動の取り組み

沖縄・広島・長崎それぞれの平和集会への積極的参加
エコキャップ運動
石手川清掃活動への積極的参加

3. 教育・学習活動

「活動が人を育てる」といわれるように、青年活動を通じて問題意識及び行動力を身に付けていくことが大切だと考えます。次代を担うための自己啓発の場と認識するとともに、経験や見識を広げることで社会人としての人格を養う場になるよう活動を推進します。

各種研修会・学習会の拡充
地方自治体の行政機関等との交流・意見交換会の実施
連合主催のシンポジウム・フォーラム・各種集会への積極的参加

4. コミュニティづくりの推進

日頃抱えるさまざまな課題や悩みはみんなで共有化し、解決に向けた実践的な活動を通じて組織に対する信頼感や求心力を高めていくことが重要だと考えます。仲間同士の関わりの中から互いに信頼し合うための場づくり、いわゆる仲間同士によるネットワーク、交流・コミュニティづくりは労働組合という組織の生命線だと考え、以下の取り組みを積極的に行います。

積極的な対話活動の推進
文化・レク活動の企画・立案・実行
女性委員会との連携
各種イベントへの積極的参加
他県連合青年委員会との意見交流会

5. 政治活動関連

2010年7月に行われる参議院議員選挙を通じて政治に関心を持ち、若年層パワーを発揮して、連合愛媛公認候補者のサポートに努めます。